

協議会名	令和7年度 第2回 恵那警察署協議会
開催日時	令和7年9月17日 水曜日 午後1時00分から午後5時30分まで
開催場所	岐阜県恵那警察署・岐阜県警察本部・OKBぎふ清流アリーナ
出席者	1 警察署協議会委員 5名 2 署長ほか 8名
議事概要	1 警察に対する意見・要望 (1) 自動運転にかかる道路交通法上の責任の所在について 自動運転にはレベル0（すべての動作を運転者が行う）からレベル5（すべての動作をシステムが行う）までの6段階があります。 この内、レベル3以下は何らかの形で人が運行を管理することとなり、レベル4で条件付き無人運行、レベル5で無条件での無人運行が可能となります。 一般的には、レベル4以上のシステム運行時はシステム管理者の責任、それ以外の運行の場合は運転者の責任として問議することとされています。 なお、現在のところ岐阜県内においてはレベル3までの試行にとどまっております。 (2) 自転車の交通ルールに関する、外国人向けの資料や講習会等について 資料については、自転車の安全な乗り方を記載したポルトガル語、ベトナム語などの資料を岐阜県警のホームページに掲載しております。 岐阜県のホームページにも「外国人の方用交通安全テキスト」として、英語、ポルトガル語、中国語、ベトナム語の資料が掲載されておりますので、ご活用ください。 講習会については、外国人を雇用している企業や外国人学校等からの依頼があれば、日程調整のうえで講習会を行っています。通訳については企業や学校側をお願いしています。 (3) 女性警察官の採用状況と自宅通勤について 令和6年度における女性の大卒の卒は60名が受験し、内29名が合格しました。大卒以外の卒は40名が受験し、内15名が合格しました。 採用時教養期間は、原則官舎に居住します。期間終了後は、本人の希望と各所属の実情に応じ、自宅や民間アパートに引っ越すことは可能です。 (4) 最近の特殊詐欺の状況と詐欺防止を訴える劇団について 特殊詐欺の発生状況 県内（令和7年7月末現在） ①特殊詐欺 発生：241件（前年比＋35件） 被害額：8億6,532万円（前年比＋3億8,372万円） 傾向：令和元年以降、発生件数、被害額とも年々増加 ②SNS型投資・ロマンス詐欺 発生：199件（前年比＋29件） 被害額：14億5,176万円（－3億4,889万円） 傾向：前年より発生件数は増加、被害額は減少 特殊詐欺より被害額が深刻 恵那警察署管内（令和7年7月末現在） ①特殊詐欺 発生：6件（前年比＋2） 被害額：3,922万円（前年比＋2,770万円） 傾向：前年より発生件数、被害額ともに増加 ②SNS型投資・ロマンス詐欺 発生：0件（前年比－5件） 被害額：なし（前年比－4,072万円） 傾向：令和7年の発生なし

	詐欺防止を訴える劇団については、愛知県一宮市を拠点とする「劇団シンデレラ」に依頼し、各地区の老人クラブの集まりの機会を利用し、20分程度で特殊詐欺の手口を紹介する演劇をしています 恵那市市内では、令和4年12月に恵那市福祉センターで講演をしております。
2	中部管区内警察逮捕術大会視察
3	交通管制センター・通信指令室視察
4	警察署長総評

※必要に応じ資料を添付すること。